



## 谷田橋

昔

昭和41年



今



下高隈町の串良川に架かる谷田橋。写真の橋は昭和40年に完成したもので、現在のものは昭和53年に架設されたものです。電柱が立ち並び、道路も舗装されましたが、今も昔も奥には住宅が並んでいるのがわかります。観光地である谷田の滝に近いこの橋は、時が経っても地域住民の大切な交通の要所として機能しています。



昔、鹿屋で起きた出来事にクローズアップ！

## カノヤタイムトラベル

### 日本初の博覧会を開催

昭和33年3月20日から4月30日にかけて市内で開催された「科学航空大博覧会」。航空科学の重要性を示し、地方産業の振興や文化の向上等を目的に開催されたこの博覧会は日本では初開催、世界を見ても珍しいものでした。

開催にあたっては、鹿児島県と鹿屋市の共催という形をとり、当時の防衛庁や通産省といった省庁や新聞社等の協力により開催され、総経費は2億円に達するなど地方で行われる催しとしては珍しいほど大規模なものでした。



水族館や物産館、売店なども設けられ、家族で楽しめる催し物でした

会場には航空館、航空機展示場、電気科学館、宇宙館等の建物が設けられ、その建物面積は約1万㎡にも及びました。そのほか、曲芸飛行や落下傘の降下演習といった航空隊ならではのものから、闘牛大会や歌劇の公演など様々な催し物が連日開催。1か月弱の開催期間で約17万6千人もの入場者を記録しました。

会場は、海上自衛隊鹿屋航空隊の敷地の一部約30万㎡を借用。これは当時の永田良吉市長が戦前に鹿屋海軍航空隊の誘致運動を行い、航空隊の開設に尽力したことから許可されたものでした。また、航空隊で使われていた飛行機や器具等も展示され、隊員が丁寧に説明したことも、永田元市長の功績があつたからこそのことでした。

鹿屋市のためにご尽力された永田元市長が亡くなり今年で50年。博覧会のような大規模なイベントを通常通り開催できる日が待たれます。